

第8期（平成30年度）

# 総会資料



日時 平成30年4月15日（日）18:00～  
会場 小牧市中部公民館  
小牧市小牧五丁目253番地

日本ボーイスカウト愛知連盟  
尾張東地区  
地区HP：<http://www.scout-owarihigashi.org/>

### 第一部 開会式

開会の言葉

国旗儀礼、国歌斉唱

コミッショナー

協議会長挨拶

井上協議会長

スカウト紹介

コミッショナー

富士スカウト・隼スカウト

### 第二部 議案審議

議長選出

書記選任

総務委員会

総会成立確認

定足数確認報告

(議員数 名)

事務局

出席 名 委任状 名

議案

第1号議案 平成29年度事業報告の件

地区委員長、コミッショナー  
各運営委員長

第2号議案 平成29年度決算・会計監査報告の件

事務局 会計係、監事

第3号議案 平成30年度事業計画(案)の件

地区委員長、コミッショナー  
各運営委員長

第4号議案 平成30年度予算(案)の件

事務局 会計係

### 第三部 閉会式

副協議会長 挨拶

佐々副協議会長

連盟歌斉唱

指揮 石川圭祐 氏

国旗儀礼

コミッショナー

閉会の言葉

## 組織・拡充委員会

### 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

### 評価反省

- ・3部会制（総務・登録・広報）は活発な討議が出来るようになりました。
- ・地区の主要な会議記録概要を発表し委員の意識向上に努め、他部門連携の重要性認識を高めました。
- ・毎月の登録状況増減表を地区委員会、団委員長会議、定例会委員会で報告できました。
- ・地区ホームページの活用を見直し管理された情報展開と利用率向上のアピールを強化していきます。
- ・地区フェイスブックの運用も6年目となり内容も充実してきました。
- ・地区誌「はやぶさ」の予定通り発行できたが記事投稿の片寄りは解消できませんでした。
- ・県図画・写真コンテストの審査員奉仕（技能章考査員：絵画・写真）ができませんでした。
- ・地区図画・写真コンテストが開催できませんでした。
- ・委員会出席ゼロの団が3個団あります。不参加理由を調査しましたが不明でした。
- ・登録システムの活用法についてさらに研究していきます。

## スカウト進歩委員会

### 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

### 評価反省

#### 1. 進級目標達成度

- |              |     |       |         |
|--------------|-----|-------|---------|
| ① 富士スカウト章修得者 | 2名  | 目標4名  | 達成率50%  |
| ② 隼スカウト章修得者  | 8名  | 目標24名 | 達成率25%  |
| ③ 菊スカウト章修得者  | 38名 | 目標29名 | 達成率117% |
| ④ 1級スカウト章修得者 | 43名 | 目標57名 | 達成率75%  |

ベンチャー、ボーイ部門共目標に近づけました。ただ期末の駆け込みが多い為、早めの修得、申請をお願いします。

来期は新進級課程の移行がありボーイ、ベンチャーの連携をうまく図り、円滑な移行、進級を支援します。

#### 2. 団面接の完全実施と個人記録帳の整備

各団共カブの完修面接、ボーイ以上の進級面接をなされていると思いますが、地区への面接報告がなされていない団が数団あり、全団の報告を求めます。

個人記録帳の整備については具体的な確認が出来ていませんが菊申請書を見ると間違いが時々あり整備が出来ていない団もあると思われ、委員会での整備の確認が不足していました。

#### 3. 技能章講習会の開催

予定された6回の講習会は開催出来ました。

ただボーイの一部参加も認めたにも関わらず、参加人数が減っており参加者を増やす事が課題です。

来期は新進級課程に基づいた講習会になりますが、内容の充実、参加者の増加を図ります。

#### 4. スカウトフォーラムの開催

スカウトフォーラムは6名の参加、アフターフォーラムは中止となり、散々の結果となりました。5月に県のアフターフォーラムが開催され、県、日連フォーラムの無い年で難しい年でしたが来期は元から見直します。

## 5. 定例会議

出席率は昨年同等で、出席0の団も無いので委員会の内容は団内に伝わって協議されていると思います。定例会の情報交換会では各団の状況も確認でき、来期もこのまま継続します。

## 6. 講習会奉仕

奉仕いただける方の偏りは昨年同様で改善を図ります。

# 指導者養成委員会

---

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

平成29年度重点施策に対する評価

### 3・実効性のある指導者研修

#### (1) 定型外訓練の充実

⇒年間計画の定型外訓練は全7回でしたが、プロジェクト研究会を参加申込者不足で開催できませんでした。

また、今年度から団委員長サミットの運営を指導者養成委員会が運営する事となり、団委員研修会は中止としました。

定型外訓練修了者は、延べ120名（3月末、野営法研究会Ⅱを残す）です。

#### (2) インサーブ・サポートの推進

⇒コミッショナーの主導により、定型訓練参加者への支援が実施出来ました。

WB 研修所参加者（全コース計） 11名

WB 実修所参加者（CS コース） 2名

団委員実修所 4名

#### (3) 運営委員会の充実

⇒年間6回の委員会開催でしたが、通年平均の参加率は84.1%となりました。

参加0回の団があり、参加促進の施策が必要です。

活動内容に対する評価

1ー(1) 「第3回愛知ベンチャースカウト大会」へ奉仕の指導者に、個別に必要な研修の場を提供します。

⇒委員会独自の活動はありませんでした。

3ー(1) 年間7回の定型外訓練、2回の定型訓練（BS 講習会）を開催し、参加者数増加率3%を目指します。

⇒定型外訓練・定型訓練の実績については上記の通りです。

3ー(2) コミッショナーと連携の元、地区内指導者に対しインサーブ・サポートの体制を強化します。

⇒コミッショナーの主導により、定型訓練参加者への支援が実施出来ました。

3ー(3) 委員全員の研修の場として位置づけ、毎回研修テーマを設けて開催します。

⇒全6回開催の委員会の内3回で、グループワークを活用して運営しました。

委員全員の意見交換などが出来、委員の研修の場として活用できました。

# 行事・国際委員会

---

## 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

## 評価反省

- ◆海外派遣・国内派遣事業として下記4事業へ派遣しました。  
派遣事業に沢山の関係者を派遣出来、スカウトには参加目標が達成でき今後の活動・活躍に期待します。
- ① 第11回愛知連盟・韓国ソウル北部連盟ローバス緑化プロジェクト派遣（4月7日～9日）
  - ・地区よりローバススカウト3名と指導者1名派遣、韓国スカウトとの交流・親睦を深める事が出来ました。
  - ・参加スカウトには11月開催「吉川野営場・どんぐり交流会」で緑化プロジェクト活動紹介を行い、海外でも植樹活動している事を報告しました。
- ② 第30回韓国ソウル北部連盟キャンポリー大会（8月1日～7日）
  - ・地区よりスカウト4名、派遣隊長として1名を派遣しました。
  - ・台風の影響から帰国が1日伸びましたが無事に帰国、韓国スカウトとの交流を深める事ができました。
  - ・帰国日は台風の影響で帰国便が欠航となり急遽翌日帰国へ変更となりましたが、当日の宿泊や翌日の航空便確保にソウル北部連盟関係者方々のご尽力を賜り無事に帰国できました。
- ③ 第3回愛知ベンチャースカウト大会（8月8日～13日）
  - ・地区よりスカウト23名と奉仕者22名を派遣しました。
  - ・天候の影響で、大会初日が中止となり2日目からの開催となりました。
  - ・参加スカウトは当初の目標を達成されたと思います。引き続き「隼章」「富士章」取得を目指し努力していただきたいです。
- ④ 富士特別野営2017（8月12日～18日）
  - ・地区よりスカウト3名、大会奉仕者23名を派遣しました。
  - ・29年度で閉鎖された静岡県山中野営場周辺を会場に6泊7日の野営を通じ、全国から参加したスカウトとの交流を深める、自己技能の向上が図れ有意義な大会となりました。と参加スカウトより報告を受けました。
- ◆「緑の募金」活動、21個団が活動、約44万円の募金を頂き県連へ送付しました。
- ◆「スカウトの日」活動、21個団が活動参加、それぞれ「環境保全美化活動」「社会奉仕活動」等にご尽力いただきました。スカウト活動の一部を一般市民にPRできました。
- ◆各団発行「野舎営届」「県外旅行申請書」の提出状況をまとめ、地区委員会や団委員長会議、行事・国際委員会で報告し、提出漏れ防止と提出確認を実施しました。
- ◆県連 行事・国際委員会が年6回開催され、委員会へ参加し委員会内容を地区内各団へ報告しました。
- ◆地区行事・国際委員会出席率が前年度より改善されました。又、出席ゼロの団が1個団ありますが、前年度より1個団減となり、改善されました、引き続き出席率向上を目指します。
- ◆10月開催予定でした「第3回地区カブスカウトラリー」は天候不順で残念ながら中止となりました。予備日が設定されていませんでしたので次回より予備日の設定検討をお願いします。

## 総務委員会

---

### 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

### 評価反省

- ・地区ボウリング大会については、来年度も開催予定ですが、参加者年々減少のため、参加者増を目指し、開催方法を、委員会で議論をしてゆきます。
- ・「防災ボランティアコーディネーター養成講座」への参加者は4名でした。前年より参加者が減りましたが、（-3）来年度も開催予定ですので、受講促進をしてゆきます。
- ・防災キャラバンにつきましては、イオンモール長久手で初めての開催で、スペースが狭かったため、充分なBS活動のPRもできませんでした。  
来年度は、計画案等の準備を早くから進めて成功させたいです。
- ・RS対象「リクルート懇談会」につきましては、当地区から9名参加しました。  
各団・地区ローバスの協力により、参加者目標数値を大幅に達成できました。

開催3回目で、各年、若干名の就職も決まっております、次年度も開催予定ですので、多数の参加者と、地域の企業に就職ができる態勢づくりをしてゆきます。

- ・委員会の充実につきましては、委員会出席率78.2%と目標数値には届きませんでした。  
インシデント報告等、安全促進・危機管理体制などさらに充実させてゆきます。

## 尾張東地区ローバース Frontier

---

### 事業報告

#### 総会・定例会

総会	参加者19名
第1回	参加者18名
第2回	参加者14名
第3回	参加者17名
第4回	参加者14名

継続的な参加者がある一方、新規の参加者や1年目のRSの参加が少ないため、昨年と比較して参加者数が減少している。新しいスカウトが地区ローバースに関心、興味を持ってもらえるような広報、参加しやすい環境を整えていく必要を感じました。

#### 小牧山親子ラリー奉仕 奉仕者：6名

少人数でありましたが、運営をスムーズに行うサポートができました。ローバースは、ボーイスカウト紹介ブースを運営することで参加してもらえる親子に対し、ボーイスカウトを知ってもらう良い機会になりました。毎年、運営のサポートを行なっていることもあり、今後の地区ローバースとしての参加意義について、一度検討をしていきます。

#### 夏季アクティビティ 参加者：6名

グループ単位の行動や読図を行うことでスカウトスキルを養うことをメインに企画を行い、参加者からは好評でした。今回反省すべき点は、参加者が少ない点です。告知方法の工夫や普段のコミュニケーションを密に図るなど、今後の活動へ活かしていきます。

#### 地区VSフォーラム 奉仕者：9名（VS参加者：6名）

テーマ選定から携わり、VS担当副コミや進歩委員と打ち合わせをするなど以前行えていなかったことを行うことができました。

当日はアクシデントにも対応しつつ円滑に運営できましたが、フォーラムの着地点で指導者と認識がずれてしまっていたので、認識のすり合わせをしっかりと行うべきでありました。

#### ローバースブートキャンプ 参加者：13名（尾張東地区：7名、他地区6名）

国旗掲揚方法確認、キャンプファイヤーでのエールマスタの振る舞い方、地区組織や企画を立てた際の通すべき道筋など、ボーイスカウトとしての基礎トレーニングをローバースで実施しました。各隊の奉仕、また今後指導者を目指していくローバーにとって今回の企画は今後に繋がるものになりました。

また、尾張ブロックローバースの合同企画として行うことで、各地区のローバー間で交流を深めることがで

きました。スカウトの繋がりは、今後の活動を行う上で重要な点にもなってくるため、このような企画は継続していきたいと考えています。

## 評価反省

今年度の活動テーマ「making wa」から、ベンチャースカウト・ローバースカウト間・他組織の繋がりの拡大を目的とし1年活動を行なってきました。活動の回数は前年度に比べ減少しましたが、ベンチャーフォーラム、アクティビティ、尾張ブロック合同企画の実施など活動目的に沿った内容を行うことができました。

今年度は、新たに企画を実施したいスカウトが挑戦できる場を提供し、企画の増加や活動の幅を広げていけるようにしたいと考えています。

また、社会に対しての貢献ができる活動をしていくことで、組織としての存在意義を確立していきたいと考えています。

## コミッショナーグループ

---

### 事業報告

別紙 事業・活動報告の通りです。

### 評価反省

#### 【コミッショナー】

- ・第3回愛知VS大会のポイント運営は、尾張ブロックの3地区内で連携をとりながら、切な運営を行なえることができました。また、参加スカウトに対するサービスも満足できる内容でありました。
- ・RTにおける研修・研究については部門間にばらつきがあったように感じており、次年度への課題として反省をしています。本年度は実践型の研修を取り入れて研修を行っていた部門もあり、楽しく学べる場としてRTを再構築し、研修の場として活用していただけるようにと考えています。
- ・地区トレーニングチームとして掲げた年間計画を満足いくレベルで達成することができませんでした。特にOJTによるチーム員への支援時間の都合などにより十分に効果を発揮できなかったと考えています。次年度は時間的余裕を見た取組みで、この点を改善したいと思います。
- ・WB研修所への参加者については年度の計画を達成でき、地区内指導者の研修への意欲を感じることができたと評価しています。実修所参加については当初目標を達成できていないため、研修所の研修内容変更に伴う内容を説明して、一人でも多くの隊指導者が参加していただけるように、啓発を行なっていきます。
- ・セーフフロムハームについての取組みができませんでした。内容の多くはスカウトに直に関連する基本的かつ重要な内容であるため、次年度では研修の方向性を定めさせていただきます。
- ・17回日本スカウトジャンボリーへの取組みは、比較的早い段階で実行委員会を立ちあげました。また、ブロック間の調整、協力も同時に取組みを始め、順調に事業を進めることができました。

#### 【BVS部門】

・改訂されたリーダーハンドブックの「プログラムのヒント」を項目建てし、自隊へ活用できるように個人作業やグループ作業を通して考察・研究ができました。

この年齢に相応しいスカウト技能の展開も視野にいれ、スカウトや保護者の希望や思いを自隊での活動へ活かせるように継続的な研究を支援します。

・隊指導者の資質の向上のために定型・定型外訓練への参加を促し、前年度を上回る人数となりました。定型外訓練は、隊指導者のニーズを反映できるように、今後も地区と協働をしていきたいと考えています。訓練に関しては、今年度も参加希望者がありませんでした。スキルトレーニングを含めてその必要性を理解しただけのような支援をします。

・近隣団との合同隊集会開催を通じて、複数の指導者によるプログラムの展開、大人数での体験の楽しさを再確認することができました。団関係者からの継続の要望もあり、希望団だけでなくエリアごとに全団で実施できるように支援をします。

#### 【C S部門】

・リーダーハンドブック改定に伴い、DL 研修会と指導者研修会を同時開設し、部分的に合同セッションを設けました。従来のウィークポイントでありました「隊長によるDLの指導」を模擬で、自隊内で展開することができました。隊長は、責務の実感。DLは、自隊の隊長による安心した支援を体験できたと思います。しかし、自隊でのリーダー会議の展開やプログラムプロセスに沿った運営は必ずしもできていないようで、引き続き支援の必要があります。

・台風の影響によりカブラリーは中止（30年度に延期）となりましたが、各ブースのプログラム作成において、テーマ・想定を活かした立案ができており、創意工夫が見られました。

・夜のプログラム研究を通じて、キャンプファイア計画や夜間ゲームを教育技法と捉えていただくことができました。今後自隊での活用を期待しています。

・未だ進歩の取り組み方にバラつきがあり、カブブック完修時期を早めていただくとともに、各プログラムへの進歩設定を強化していただくようにしました。くまキャンプは、早期に取り組む団が大多数となりました。

#### 【B S部門】

・新進級過程の制度、目的、課目に関するCS/BS/VS部門との合同説明会を実施し、来年の新進級過程の施行に向けた支援を実施することができました。

・BS隊長、指導者が中心となり定形外（地区野営法研修会）のセッションを担当することにより、技能向上、地区として統一・統率感を得ることができました。また、ラウンドテーブル内で指導者ニーズを反映した研究（ソング、スカウトオウンサービス、通信…）を併行実施をしました。

・進級面では、個人記録や申請書類の記載手法、面接への心構えについて、支援を行い、菊スカウト（30名）の目標を達成することができました。

#### 【V S部門】

・3AVに地区内より23名のスカウトが参加したが、大会終了後からの進捗が思わしくなく今年度内のプロジェクトバッジ取得目標数には至らない結果となったことを猛省し、次年度で結果が結びつくよう支援体制を整えたいと思います。

・隼章と富士スカウト章の進級率低迷はRT内にて他団との情報共有の場と研究・研修内容や隊訪問実施の構築が不十分であった事が起因の一部として反省される為、コミッショナー同士の連携強化に努め、次年度では継続的な改善を図りたいと思います。

・今期の春季秋季一泊技能章講習会ではBS部門と連携して参加スカウトに満足の行く講習が提供できた事は評価として挙げられます。

#### 【R S部門】

・ラウンドテーブルの出席率は出席する隊長が決まっており、すべての団に対する支援には至っていません。

・英国エディンバラ公国際アワードに関しては、1名がゴールドを修了しました。地区内7名のアワードリーダーを有し、支援する体制は整ってきていますが、新規参加者が現れないのが現状です。アワードリーダーを活用し、地区ローバース定例会等で説明会を開くなど、新規参加者の掘り起こしを進める必要があると考えています。

#### 【団 担 当】

29年度の活動として

- ① 班制度の遂行に向けて課題取組に支援・助言をします：目標3
  - ・近隣団との合同集会の推進を提案・支援を重点団6ヶ団へ提案しました。



確認事例を記入（春8+犬5カブ 春2+10BS 江1+3BS）

- ② 団運営の活性化を進める団の活動を支援します:目標5
  - ・団委員研修所、団委員実修所参加団への参加者への支援を通して団活性化を提案しました。
  - ・団活塾への参加推進をしました。
  - ・団委員長サミット2018にて活性団の発表から自団への対応を提案しました。
  - ・再生努力の団を地区の形で支援しました。
- ③ 地域毎に、募集に関しての合同企画に参加します：目標5件
  - ・市町にて合同で開催の募集活動を企画段階から支援することができました。  
（合同 江南1+3、小牧1+2 単独支援は尾張旭1 春日井のイベントを6個団で開催）
  - ・全団の募集計画を調査して地区内で情報提供しました。
- ④ 団委員長サミットを開催して、地区内の団活動の向上を推進します:目標全団
  - ・全団参加で団運営に取り組みました。
  - ・エリア毎の討論会によって団の現状分析からの自団の団活動の動向とアクションプラン作成ができました。

団の意識を向上させることは出来たが、重点団への継続支援は必要とかがえます。  
団担当へ気軽に支援依頼できるよう、担当団の変更を行いました。団訪問を継続して行います。

## 事務局

---

### 事業報告

- ① 愛知連盟会議出席・奉仕しました。
  - ・県連総会 平成29年6月18日 受付業務
  - ・事務長会議  
年4回 平成29年7月1日、10月10日、12月5日、平成30年3月6日
- ② 地区委員会／団委員長会議、他会議の招集開催を致しました。
  - ・地区委員会 9回開催
  - ・団委員長会議 3回開催
- ③ 会議資料作成などの事務作業を行いました。
  - ・県連等による配布資料の分配、情報伝達のペーパーレス化を推進しました。
- ④ 行事費、登録費等会計に関わる資金管理を致しました。

### 評価反省

事務長会議、諸会議において情報収集交換を積極的に行い、地区への情報展開を速やかに行い諸事項について各委員会との協働で遅滞なく各団宛展開することができました。一部、情報量が多いため情報展開が遅れました。

## 決算

## 1. 一般会計

## &lt;収入の部&gt;

(単位：円)

科 目	予 算	決 算	摘 要
1 前年度繰越金	372,925	372,925	
2 地区費(継続登録)	1,310,000	1,310,000	20,000×22団+600×1,450人
3 地区費(追加登録)	50,000	46,900	追加登録 86人
4 県連回付金	120,000	60,409	
1) 訓練研修費	100,000	46,000	BS講習会、技能賞講習会
2) 緑の募金還付金	20,000	14,409	緑の募金補助金
5 雑収入	10,000	245,471	寄付、利息、カプラー及びボーリング余剰金
6 積立金から取り崩し	0	0	
合 計	1,862,925	2,035,705	

## &lt;支出の部&gt;

科 目	予 算	決 算	摘 要
1 訓練研修費	230,000	209,834	
1) 指導者講習会・研修会	30,000	-9,554	BS講習会、各研修会支出 - 参加費 (200,946-210,500)
2) スカウト技能章講習会	50,000	35,388	技能章、フォーラム支出 - 参加費 (170,388-135,000)
3) コミッショナー研修会	150,000	184,000	コミッショナーグループ研修
2 行事費	120,000	25,565	
1) スカウトラリー	60,000	0	
2) ベンチャー行事費	40,000	3,800	
3) ローバー行事費	20,000	21,765	地区ローバース活動費
3 事業費	870,000	702,878	
事業費			
組織・拡充委員会	200,000	156,150	活動費、資料、地区機関紙(42,628)、HP維持費(36,288)
指導者養成委員会	50,000	37,470	旅費、活動費、資料代他
スカウト進歩委員会	50,000	24,967	〃
行事・国際委員会	50,000	32,887	〃
総務委員会	50,000	50,168	〃
コミッショナー	200,000	206,376	地区トレーニングチーム経費、救急チーム経費、旅費、資料代
事務局	50,000	36,126	腕章、スカウトあいち掲載料(30,000)
運営費			
会議費	140,000	144,900	会場使用料
事務・通信費	20,000	3,834	振込手数料
慶弔費	60,000	10,000	祝儀他
4 備品購入積立金	50,000	50,000	資材、機材、備品
5 大会関係積立金	300,000	300,000	日連、県連各大会
6 大会支援金	100,000	218,580	3AV助成金、富士特別野営助成金等
7 繰越金	192,925	528,848	
合 計	1,862,925	2,035,705	

## 2. 特別会計

科 目	前年度残高	H29年度 収入	H29年度 支出	次年度繰 越	摘 要
1 備品購入積立金	300,000	50,000	51,170	298,830	ワイヤレスマイク
2 全国大会関係積立金	2,150,000	300,000	0	2,450,000	17NSJ等準備金
合 計	2,450,000	350,000	51,170	2,748,830	



## 平成30年度地区運営方針

### 1 運営方針

「基本原則」に沿ったスカウト活動ができるように、各団への支援を強化するとともに、地区として「スカウト数の増加」「指導者の養成（確保）」に向けた取組みを計画的に推進することとする。

### 2 目標

- (1) スカウト数の増加に向けた具体的な施策の実施  
青少年100人に0.8人のスカウト確保を目指します
- (2) 全ての団から、「菊・隼・富士」取得者を目指します
  - ①地区目標達成に向けた対応をします
  - ②BS・VS部門の新進級課程への対応をします
- (3) WB研修所(スカウトコース)、実修所への参加支援
  - ①課題研修等のトレーナーによる一貫支援（担当制）をします
  - ②将来の地区を見据えた態勢づくりをします

### 3 重点施策

- (1) 「第17回日本スカウトジャンボリー」に向けた支援
  - ①参加者および関連事業への支援態勢強化をします
- (2) 「班（組）活動のできる」団に向けた対応を推進
  - ①少人数団（隊）への他団との合同集会の推進をします
  - ②団訪問等による団への支援を強化をします
  - ③他団との合同見学会等の開催に向けた取組みをします
- (3) 実効性のある指導者研修
  - ①定型外訓練の充実をします
  - ②インサービス・サポートの推進をします
  - ③ラウンドテーブルおよび運営委員会の充実をします（研修の場としての活用）
- (4) 危機管理体制の充実強化
  - ①防災ボランティア・コーディネーターの養成をします
- (5) セーフ・フロム・ハームの推進をします

### 4 各運営委員会事業計画

別紙資料の通りです

第4号議案

平成30年度予算(案)の件

1. 一般会計						
<収入の部>						
(単位：円)						
科 目		H29年予算	H30年予算	摘 要		
1	前 年 度 繰 越 金	372,925	528,848			
2	地 区 費 ( 継 続 登 録 )	1,310,000	1,256,600	20,000×22団+600×1,361人		
3	地 区 費 ( 追 加 登 録 )	50,000	50,000	100人		
4	県 連 回 付 金	120,000	120,000			
	1) 訓 練 研 修 費	100,000	100,000	BS講習会、技能賞講習会		
	2) 緑 の 募 金 還 付 金	20,000	20,000	緑の募金補助金		
5	雑 収 入	10,000	10,000	寄付金、祝儀、利息等		
6	積 立 金 か ら 取 り 崩 し	0	1,000,000			
合 計		1,862,925	2,965,448			
<支出の部>						
科 目		H29年予算	H30年予算	摘 要		
1	訓 練 研 修 費	230,000	270,000			
	1) 指 導 者 講 習 会 ・ 研 修 会	30,000	50,000	BS講習会、資料他		
	2) ス カ ウ ト 技 能 章 講 習 会	50,000	40,000	技能章研修会、資料他		
	3) コ ミ ッ シ ョ ナ ー 研 修 会	150,000	180,000	コミッショナーグループ研修		
2	行 事 費	120,000	160,000			
	1) ス カ ウ ト ラ リ ー	60,000	120,000	ビーバー&カブラリー		
	2) ベ ン チ ャ ー 行 事 費	40,000	20,000	議長会等		
	3) ロ ー バ ー 行 事 費	20,000	20,000	地区ローバース活動費		
3	事 業 費	870,000	910,000			
	事 業 費	組 織 ・ 拡 充 委 員 会	200,000	200,000	活動費、地区機関紙(3回発行)、HP維持費	
		指 導 者 養 成 委 員 会	50,000	50,000	旅費、活動費、資料代他	
		ス カ ウ ト 進 歩 委 員 会	50,000	50,000	"	
		行 事 ・ 国 際 委 員 会	50,000	50,000	"	
		総 務 委 員 会	50,000	50,000	"	
		コ ミ ッ シ ョ ナ ー	200,000	250,000	地区トレーニングチーム、救急チーム経費	
	運 営 費	事 務 局	50,000	50,000	スカウトあいち掲載他	
		会 議 費	140,000	140,000	会場使用料	
		事 務 ・ 通 信 費	20,000	20,000	振込手数料	
	慶 弔 費	60,000	50,000	祝儀他		
4	備 品 購 入 積 立 金	50,000	50,000	資材、機材、備品		
5	全 国 大 会 関 係 積 立 金	300,000	300,000	日連、県連各大会		
6	大 会 支 援 金	100,000	1,000,000	17NSJ		
7	予 備 費	192,925	275,448			
合 計		1,862,925	2,965,448			
2. 特別会計						
科 目	前年度残高	H30年収入	H30年支出	次年度繰越	適 要	
1	備 品 購 入 積 立 金	298,830	50,000	0	348,830	
2	全 国 大 会 関 係 積 立 金	2,450,000	300,000	1,000,000	1,750,000	大会準備金
合 計		2,748,830	350,000	1,000,000	2,098,830	

## 資料

### 平成29年度 隼スカウト・富士スカウト 伝達者名簿 ( 取得 順 )

#### 隼スカウト

中村 稔	江南第1団
渡辺 隼人	江南第1団
岡本 愛美	北名古屋第2団
玉井 友梨	北名古屋第2団
平田 遥香	日進第2団
荒木 良季	日進第2団
丹羽 亮弥	小牧第1団
井高 直輝	春日井第4団

#### 富士スカウト

佐藤 優真	春日井第2団
気駕 尚幸	小牧第2団

### 平成29年度運営委員会出席状況表

#### 組織・拡充委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/5	100
犬山第7団	2/5	40
大口第1団	3/5	60
尾張旭第1団	2/5	40
春日井第2団	3/5	60
春日井第3団	0/5	0
春日井第4団	5/5	100
春日井第5団	4/5	80
春日井第8団	4/5	80
春日井第10団	3/5	60
北名古屋第1団	0/5	0
北名古屋第2団	4/5	80

	出席/開催	出席率
清須第1団	4/5	80
江南第1団	1/5	20
江南第3団	5/5	100
小牧第1団	3/5	60
小牧第2団	4/5	80
瀬戸第1団	5/5	100
瀬戸第6団	5/5	100
長久手第1団	0/5	0
日進第1団	3/5	60
日進第2団	5/5	100
平均出席率	70/110	60

#### スカウト進歩委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83
犬山第7団	6/6	100
大口第1団	4/6	67
尾張旭第1団	4/6	67
春日井第2団	6/6	100
春日井第3団	4/6	67
春日井第4団	6/6	100
春日井第5団	5/6	83
春日井第8団	3/6	50
春日井第10団	6/6	100
北名古屋第1団	6/6	100
北名古屋第2団	6/6	100

	出席/開催	出席率
清須第1団	1/6	17
江南第1団	6/6	100
江南第3団	6/6	100
小牧第1団	5/6	83
小牧第2団	5/6	83
瀬戸第1団	2/6	33
瀬戸第6団	6/6	100
長久手第1団	3/6	50
日進第1団	5/6	83
日進第2団	5/6	83
平均出席率	105/132	79.5

### 指導者養成委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	6/6	100%
尾張旭第1団	3/6	50%
春日井第2団	6/6	100%
春日井第3団	2/6	33%
春日井第4団	5/6	83%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	3/6	50%
春日井第10団	6/6	100%
北名古屋第1団	6/6	100%
北名古屋第2団	5/6	83%

	出席/開催	出席率
清須第1団	6/6	100%
江南第1団	6/6	100%
江南第3団	6/6	100%
小牧第1団	4/6	67%
小牧第2団	3/6	50%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	6/6	100%
長久手第1団	6/6	100%
日進第1団	4/6	67%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	111/132	84.1%

### 行事国際委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	5/6	83%
犬山第7団	5/6	83%
大口第1団	5/6	83%
尾張旭第1団	6/6	100%
春日井第2団	5/6	83%
春日井第3団	5/6	83%
春日井第4団	6/6	100%
春日井第5団	6/6	100%
春日井第8団	5/6	83%
春日井第10団	3/6	50%
北名古屋第1団	4/6	67%
北名古屋第2団	4/6	67%

	出席/開催	出席率
清須第1団	5/6	83%
江南第1団	5/6	83%
江南第3団	2/6	33%
小牧第1団	6/6	100%
小牧第2団	4/6	67%
瀬戸第1団	6/6	100%
瀬戸第6団	1/6	17%
長久手第1団	0/6	0%
日進第1団	6/6	100%
日進第2団	6/6	100%
平均出席率	100/132	75.8%

### 総務委員会

	出席/開催	出席率
犬山第5団	2/5	40
犬山第7団	3/5	60
大口第1団	5/5	100
尾張旭第1団	5/5	100
春日井第2団	5/5	100
春日井第3団	5/5	100
春日井第4団	4/5	80
春日井第5団	4/5	80
春日井第8団	4/5	80
春日井第10団	4/5	80
北名古屋第1団	5/5	100
北名古屋第2団	5/5	100

	出席/開催	出席率
清須第1団	2/5	40
江南第1団	5/5	100
江南第3団	3/5	60
小牧第1団	5/5	100
小牧第2団	3/5	60
瀬戸第1団	4/5	80
瀬戸第6団	3/5	60
長久手第1団	0/5	0
日進第1団	5/5	100
日進第2団	5/5	100
平均出席率	86/110	78.2

ラウンドテーブル [出席率 %]

ラウンドテーブル [出席率 %]

	BVS	CS	BS	VS	RS
開催回数	8回	7回	8回	8回	4回
犬山第5団	75	100	78	50	0
犬山第7団	100	100	67	100	50
大口第1団	88	86	67	50	50
江南第1団	100	86	89	88	0
江南第3団	38	100	89	100	0
北名古屋第1団	25	86	89	75	25
北名古屋第2団	0	86	67	75	75
清須第1団	0	57	56	100	75
小牧第1団	63	86	89	63	75
小牧第2団	100	71	78	63	25
春日井第2団	100	100	89	100	0
春日井第3団	-	14	33	-	0
春日井第4団	100	100	100	63	25
春日井第5団	100	71	100	100	50
春日井第8団	88	86	44	75	50
春日井第10団	100	71	89	88	0
瀬戸第1団	100	100	89	13	25
瀬戸第6団	38	57	89	75	50
尾張旭第1団	88	86	44	13	50
長久手第1団	25	86	56	13	25
日進第1団	63	86	78	13	0
日進第2団	88	57	89	100	75



平成29年度表彰履歴(敬称略)

日本連盟	たか章	井上 勲	小牧第2団	
	かっこう章	藤江克美	春日井第2団	
	特別年功章	5年	14名	
		10年	10名	
		15年	7名	
		20年	2名	
	団50年章		春日井第4団	
	隊褒章綴	10年	瀬戸第6団ローバー隊	
		20年	瀬戸第6団ベンチャー隊	
		25年	北名古屋第1団ビーバー隊	
			日進第2団ビーバー隊	
			小牧第1団ローバー隊	
			小牧第2団ローバー隊	
		30年	春日井第10団ベンチャー隊	
			大口第1団ビーバー隊	
			日進第2団ベンチャー隊	
		35年	春日井第10団ボーイ隊	
			長久手第1団ボーイ隊	
		40年	春日井第2団ベンチャー隊	
			犬山第5団ローバー隊	
45年		犬山第5団カブ隊		
	大口第1団カブ隊			
	瀬戸第6団ボーイ隊			
	春日井第5団カブ隊			
50年	春日井第4団ボーイ隊			
BS 振興国会議員連盟表彰		中村友一	北名古屋第2団	
愛知県	県民会議表彰	中村倫之	小牧第1団	
愛知連盟	県連有功章	井上康枝	瀬戸第1団 ボーイ副長	
		井上文義	瀬戸第1団 団委員	

		中村紀子	小牧第2団 カブ隊長
		本間忠彦	日進第2団 団委員
		三宅裕子	瀬戸第1団 団委員
		武市千恵美	江南第3団 ビーバー副長
		真野敦子	日進第2団 団委員
		白濱知春	小牧第2団 ビーバー隊長
		加藤雅啓	瀬戸第1団 カブ副長
		勝田裕子	日進第2団 団委員
		中谷真理	小牧第1団 ボーイ副長
		加藤尚美	瀬戸第1団 ビーバー副長
	顕彰記章	梶谷光平	長久手第1団 ボーイ隊長
		中村 稔	江南第1団 ベンチャースカウト
		長屋琉我	江南第3団 ベンチャースカウト

地区役員

役務		氏名	所属
顧問		舩 橋 鐸 夫	小 牧 第 1 団
		中 村 隆 二	春 日 井 第 2 団
協議会長		井 上 勲	小 牧 第 2 団
協議会副会長		中 村 倫 之	小 牧 第 1 団
		河 村 武 人	北 名 古 屋 第 1 団
		横 江 昭 憲	日 進 第 2 団
		佐 々 由 高	犬 山 第 7 団
地区委員長		平 野 嘉 彦	北 名 古 屋 第 1 団
地区副委員長		中 村 友 一	北 名 古 屋 第 2 団
		中 谷 洋	小 牧 第 1 団
地区コミッショナー		小 林 弘 幸	春 日 井 第 8 団
地区副コミッショナー	BVS	林 由 美 子	尾 張 旭 第 1 団
		石 川 圭 祐	江 南 第 1 団
	CS	日 比 野 良 治	江 南 第 3 団
		伊 藤 克 敏	春 日 井 第 4 団
	BS	佐 藤 精	日 進 第 2 団
		植 木 治 雄	北 名 古 屋 第 1 団
	VS	古 木 啓 介	小 牧 第 1 団
		古 川 秀 晴	犬 山 第 7 団
	RS	宮 下 彰 洋	犬 山 第 7 団
		中 川 大 輔	北 名 古 屋 第 1 団

団担当コミッショナー		申 崎 武 志	春日井第10団
		高 多 宣 彰	日進第1団
		小 林 泰 陸	春日井第4団
		佐 藤 慶 子	春日井第2団
		椎 葉 育 美	江南第3団
組織・拡充委員会	委員長	椎 葉 浩 志	江南第3団
	副委員長	青 木 正 士	春日井第4団
指導者養成委員会	委員長	伊 吹 登	長久手第1団
	副委員長	山 口 貴 美 江	春日井第10団
		藤 井 孝 之	小牧第2団
		森 裕 次	瀬戸第6団
スカウト進歩委員会	委員長	八 橋 隆	江南第1団
	副委員長	金 田 高	日進第2団
行事・国際委員会	委員長	井 上 文 義	瀬戸第1団
	副委員長	間 下 伸 一	清須第1団
総務委員会	委員長	大 谷 茂	北名古屋第1団
	副委員長	田 口 澄 雄	瀬戸第6団
事務局	事務長	岩 花 竜 章	清須第1団
	副事務長	中 村 里 美	北名古屋第2団
	会計係	志 水 幹	日進第2団
ローバース代表委員		佐 藤 遥	小牧第1団
		藤 井 聖 大	小牧第2団
監事		境 正 人	犬山第5団
		河 合 正 治	大口第1団



尾張東地区救急チームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	チーフ	小林 泰陸	春日井第4団
2	サブチーフ	高多 宣彰	日進第1団
3		横江 昭憲	日進第2団
4		串崎 武志	春日井第10団
5	事務局	中村 里美	北名古屋第2団
6		片谷 文	春日井第5団
7		松本 陽子	春日井第2団
8		水野 勲	春日井第8団
9		五井 忍	春日井第4団
10		西下 秀志	北名古屋第2団
11		杉本 京子	犬山第5団
12		伊佐治 知加子	日進第2団
13		三宅 裕子	瀬戸第1団
14		藤井 孝之	小牧第2団
15		伊藤 栄志	江南第3団
16		小川 万里子	瀬戸第6団
17		水谷 優介	春日井第2団

尾張東地区WEBチームメンバー

No	役務	氏名	所属団
1	スタッフ	椎葉 浩志	江南第3団
2	スタッフ	石原 昌幸	江南第3団